

首なし観音くび
かん
のん

むかしむかし、越後国えちごのくに（現在の新潟県）蒲原郡かんばらくんに住んでいたある男が、身に覚えのない罪をきせられ、無実を叫んでも認めてもらえず、死罪はまぬがれませんでした。この男、役人のすきをみて、逃げだし、役人に追われる身となつてしまいました。

この男は、役人の追つ手からのがれながら逃げ廻り、逃げに逃げて、阿賀野川あがのがわの流れに沿つてのぼつて、会津にやつて来ました。

会津に入つてからも、阿賀野川あがのがわの上流の鶴沼川（現在の阿賀川）に沿つて、身をかくしながら、どんだんのぼつて来ました。

しばらく川に沿つてのぼつて行くと、目の前にうっそうと生い繁しげった杉や雑木の山また山が、折り重なっているなかのある山の中腹ちゆうぶくに、一軒の萱かやぶき屋根の一部が見えました。

この男は、